



関口昌男 議員
(日本共産党)

問 子どもの学習支援事業の充実を

生活困窮者自立支援法にもとづき子どもの学習支援事業が行われているが、その事業の実施状況はどのようになっているか。また、開催場所を市内にしてはどうか。さらに、対象者の拡大について、高校の中退者や小学生まで拡大することを検討してはどうか。

答 事業の確実な実施に努める

中学生および高校生の全学年を対象に支援を実施しており、30年度からは、利便性向上のため市内に教室を設ける予定である。小学生まで支援拡大の予定はないが、高校中退者などの学びなおしの場としても活用していただきたい。

問 農業振興政策の充実を

今、日本の農業は危機に瀕していると言われている。これを乗り越えるため国政においても、市政においても農業振興政策の充実が必要である。そのため、米価対策、新規就農支援対策、農地中間管理事業などの充実が必要と考えるが、市の取組の状況と対策は。

答 各種対策に取り組んでいく

米価対策は、31年から始まる収入保険制度の周知などを行い農業経営の安定に努めていく。新規就農対策は、ニーズを把握するとともに掘り起こしに努め、支援のあり方を研究していく。農地中間管理事業対策は、農業委員などと協力しながら推進していく。



米の収穫



江原浩之 議員
(隼人)

問 一里塚周辺整備を

下野田の一里塚は、日本橋から数えて、11番目にあたり、県内では、唯一道の左右に塚が残っている。この一里塚の維持管理など現状は。次に、下野田地内の一里塚を観光資源の一つとして、また、菁莪地区の活性化のためにも、一里塚周辺整備の考えはないか。

答 一里塚の活用方法を提案していく

西塚の工ノキは古木のため、定期的に樹木医の診断を受けて、状態の確認を行う剪定などを行っている。菁莪地区の活性化に向けた取組の中で、周辺の観光資源と合わせた、一里塚の活用方法を提案していく。まずは新たなベンチの設置を考えていく。



松本栄一 議員
(創政会)

問 歯科口腔保健推進条例の制定を

この法律は23年8月に公布・施行、県条例も10月に公布・施行された。市民の歯と口腔の健康づくり推進のため、乳幼児から児童・生徒および成人に対しても重要な施策である。市の責務や歯科医療従事者・保健関係者・市民の役割などを明文化し条例の制定を。

答 条例制定の必要性を見極めていく

口腔の健康は、健康で質の高い生活を営むうえで重要であると認識している。市では「白岡市健康増進計画」において、「歯・口腔」の分野に位置づけ推進しており、計画の見直しの中で、目標とする指標の改善状況などを踏まえ、条例制定の必要性を見極めていく。